

決算特別委員会 審査概要

平成22年度の一般会計及び特別会計(6会計)の決算が9月27日に市長から提案され、議会は8人の委員で構成する決算特別委員会(委員長・須田繁美)に付託しました。委員会は、議会閉会中の10月13・14・17日の3日間審査を行い、「平成22年度狛江市一般会計決算の認定について」は不認定、「平成22年度狛江市国民健康保険特別会計決算の認定について」など6件の特別会計についてはいずれも認定しました。

一般会計決算の主な質疑は以下のとおりです。

- 決算特別委員会委員(8人)**
- 委員長 須田 繁美
 - 副委員長 西村 あつ子
 - 委員 市原 広子
 - 委員 正木 きよし
 - 委員 宮坂 良子
 - 委員 小川 克美
 - 委員 石川 和広
 - 委員 亀井 和美

一般会計の審査から

【総括質疑】

- ・正規職員及び正規職員以外での効果額と採用数等について
- ・保育園の民間委託についての考えは。
- ・依然として最低制限価格を事前公表しているのはなぜか。
- ・歳入の確保に向けた取り組みとその効果は。
- ・市民参加と市民協働から航空計器、三角地の問題について
- ・公共施設の耐震化の考え方と今後の方向性について。
- ・放射能汚染について市の基本

- ・的な考え方は。
- ・不況対策と雇用問題の基本的な姿勢について。
- ・創設、拡充された融資制度の経緯と効果について。
- ・財政調整基金の現在高と公債費の今後の見通しは。
- ・経常収支比率と歳出の効率化に向けた取り組みとその効果について。
- ・子育て一番のまちの実現は、施策成果目標の達成なくしてあり得ないとの認識でよいか
- ・行財政改革推進計画が出されたとき、これまでであった今後の財政フレームが掲載されていないのはなぜか。
- ・決算資料で、教育委員会の議案件数と可決件数が違う、なぜこんな誤りが起きたのか。
- ・グランドメゾン狛江について、行政にも影響が出ている。監査で指摘しないのはなぜか。
- ・市有地の売り払いと購入について。
- ・中学校給食について、喫食率や異物混入、契約にも問題がある。責任の所在、再発防止など指摘すべき。



- ・公債費について、繰り上げ償還など、金利負担をなくしていく対応ができないか。
- ・あいとびあセンターを建設した目的や意義は。三師会的事

- ・務局は有償で貸与すべき。
- ・給食センター建設準備委員会で建設用地のことなど議論されていらないのはなぜか。
- ・給食センターの建設に教育委員会は判断する余地も情報もない状況をどう考えるか。
- ・保育制度が変わっていく中で、公設公営の保育園の責任は。人材育成の成果は。意識改革に努め市民と同じ目線で考える行動する職員がどれだけふえたか。
- ・第4次行財政改革推進計画の進捗状況。取り組みの中にあるプロジェクトチームの数及び名称の活用と成果は。
- ・狛江市事業継続計画を活用しているが、計画はできているのか。
- ・職員467人体制を下回って

【歳入】

- ・いる場合には解消が必要とあるがどのように解消するのか。
- ・電話催告の状況と効果、徴収率を上げる取り組みは。
- ・本年度の徴収率目標は達成できたのか。
- ・保育料の規則改正の内容と滞納分の回収について。
- ・自転車返還料が少ない理由と背景は。
- ・道路占用料見直し後の収入状況は。

【歳出】

- ・公式な資料に誤った数値が目立つ、ミスを起こさない体制づくりとその責任は。
- ・避難所運営協議会の今後の取り組みについて。
- ・狛江駅前ライブを開催する際近隣への配慮、苦情等は。
- ・情報公開条例の運用及び条例改定について。
- ・情報公開審査会と個人情報保護審査会について。
- ・選挙管理委員会として投票率アップの活動と機関紙の内容配布先は。

【民生費】

- ・仮園舎不用額の要因の検証について。
- ・あんしん見守りサービスの不用額について。
- ・高齢者福祉週間行事の内容と運営について。
- ・シルバークラブ拡充に向けての具体的行動はあったのか。
- ・トイレマップの協力件数と、配布状況、利用拡大について
- ・学童保育所の指導員研修の必要性の認識について。

【衛生費】

- ・健康診査の不用額と特定健診の受診率について。
- ・ペットボトルのスーパー等での回収量の把握はできないか。
- ・【農業費】農地を守るために積極的に行ったことは。
- ・【商工費】周年事業で、川崎側とどのような交渉をしたのか。
- ・就職活動セミナーの実施状況と今後の課題について。
- ・狛江ラーメン逸品コンテストの事業評価について。
- ・【土木費】コミュニティバスの乗車人数とその分析、増便について。
- ・花いっぱいエリア創設事業の市民のかかりについて。
- ・【消防費】災害時の医療活動者の研修会の内容と参加者の職種は。

- ・防災行政無線の局数と聞こえない地域への対応策は。
- ・消火栓の設置予定数と増設数について。
- ・防災行政無線の点検結果と役割をどう認識しているか。
- ・【教育費】不登校対策の取り組みと通級学級の児童の割合は。
- ・教育研究所の組織と自己点検及び評価報告書について。
- ・教育振興基本計画策定に関し、重点事業の予算措置と課題の解決について。
- ・現状の中学校給食の民間委託は、偽装請負に当たらないか。
- ・指導要領改訂で武道が必修となる。安全についての見解は。
- ・中学校給食への姿勢と責任の所在について。
- ・私立幼稚園へ通園する子供にかかる経費負担について。

平成22年度 会計別決算状況

(単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一般会計	25,258,745	24,262,201	996,544
国民健康保険特別会計	7,131,771	7,268,785	△ 137,014
老人保健医療特別会計	3,532	3,532	0
後期高齢者医療特別会計	1,404,240	1,394,328	9,912
介護保険特別会計	3,962,311	3,952,588	9,723
公共下水道特別会計	1,883,819	1,787,383	96,436
駐車場事業特別会計	63,090	63,090	0
合計	39,707,508	38,731,907	975,601